



広島県竹原市 医療法人楽生会らくらくネット
馬場 広、遠地大輔、置名良子、金澤友矢

事業実施主体の概要

医療法人楽生会馬場病院

病床数：80床（一般32床、療養48床）

在宅支援病院

【法人内介護保険事業所】

居宅介護支援事業所、訪問看護、訪問介護、通所介護、
通所リハ、居宅療養管理指導、
短期入所療養。



竹原市の現状(平成24年3月現在)

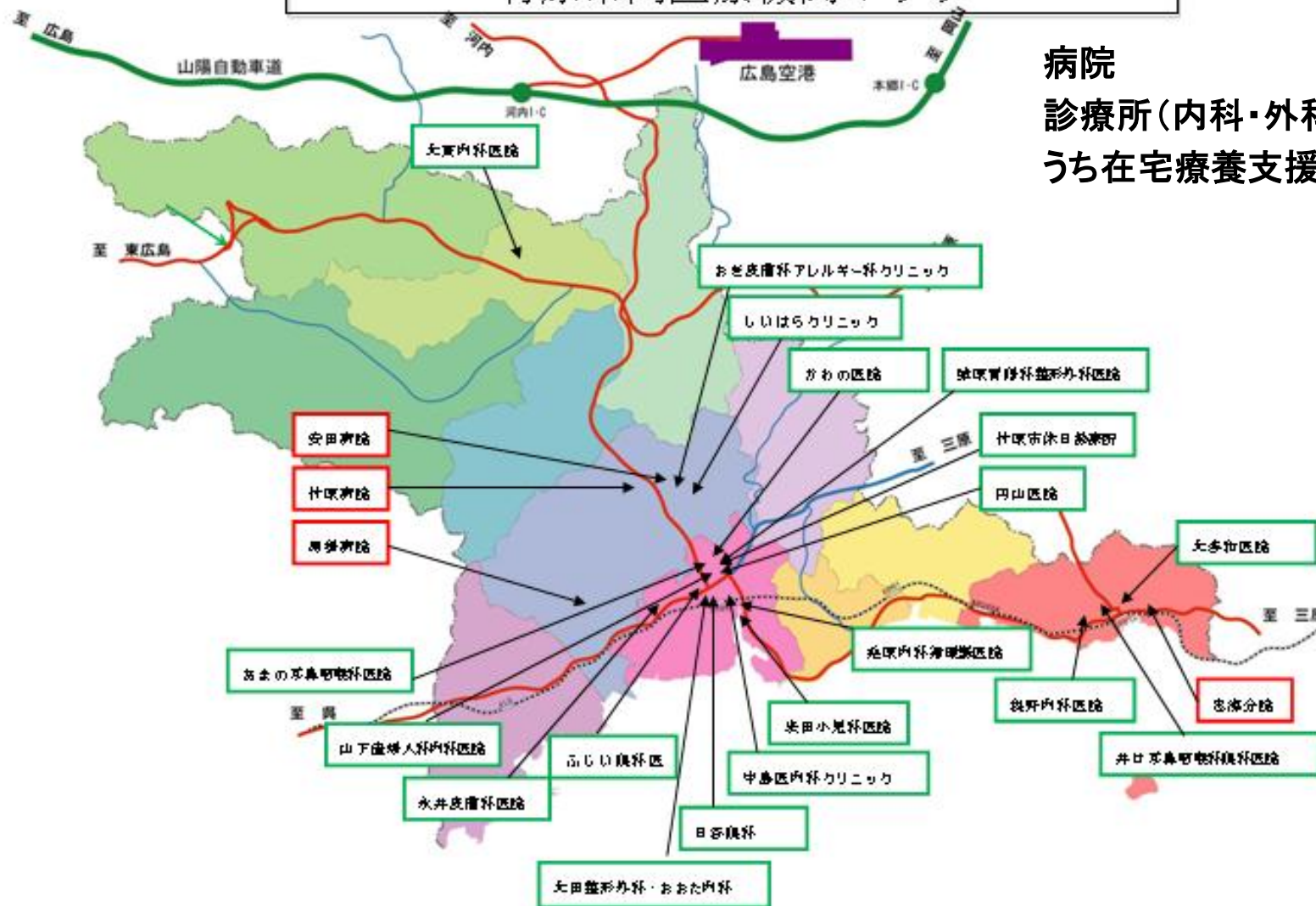
人口	: 28, 667人
65歳以上人口	: 9, 487人
独居高齢人口	: 2, 655人
世帯数	: 11, 852世帯
高齢者世帯	: 4, 616世帯(38%)
高齢者単身世帯	: 1, 569人 (13%)
高齢化率	: 33. 1%(県平均24. 3%)
後期高齢化率	: 17. 7%(県平均12. 3%)

広島中央医療圏域



竹原市社会資源

竹原市内医療機関マップ



病院

診療所(内科・外科を標榜)14

うち在宅療養支援診療所 11

4

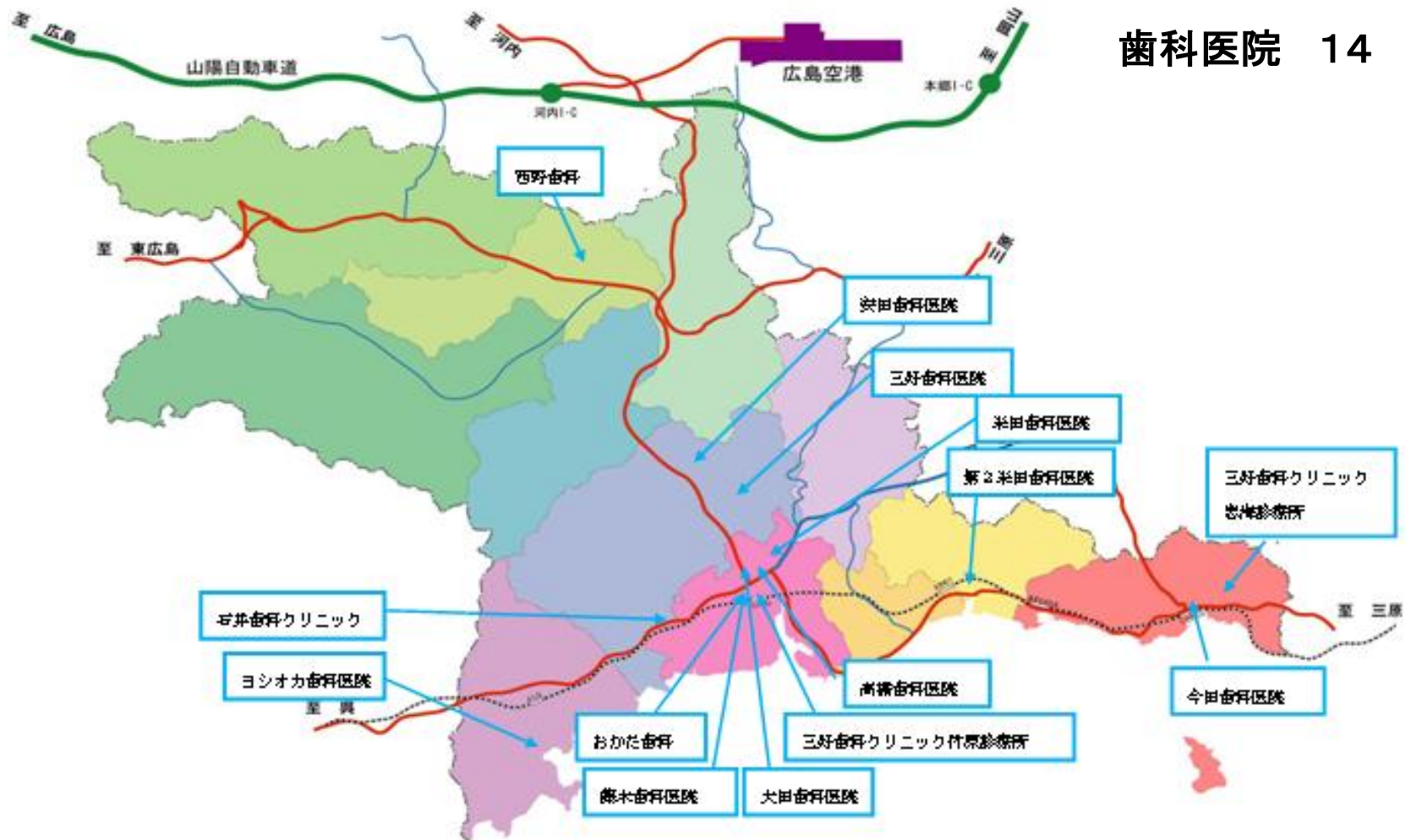
14

11

竹原市社会資源

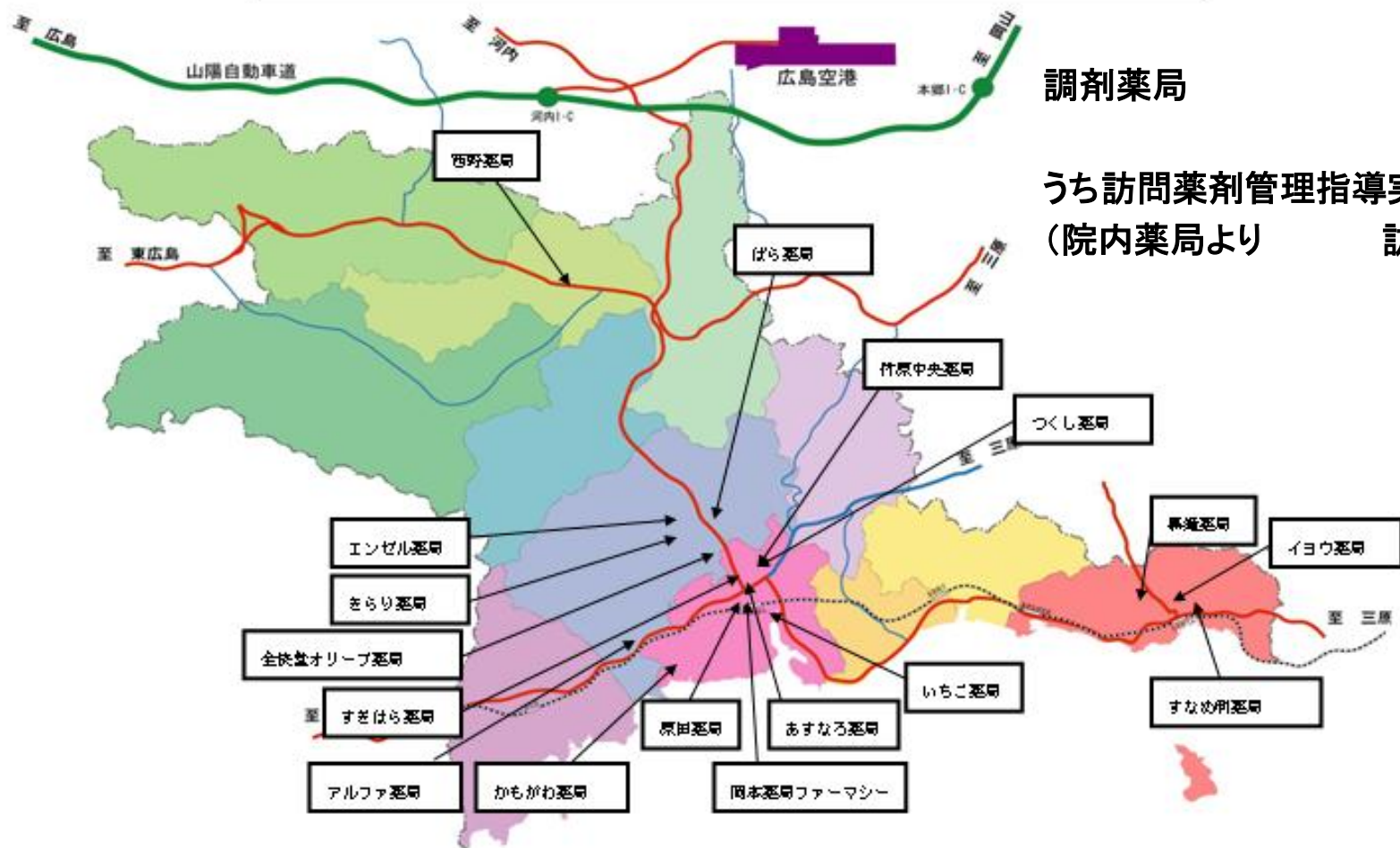
竹原市内歯科医院マップ

歯科医院 14



竹原市社会資源

竹原市内薬局マップ



18

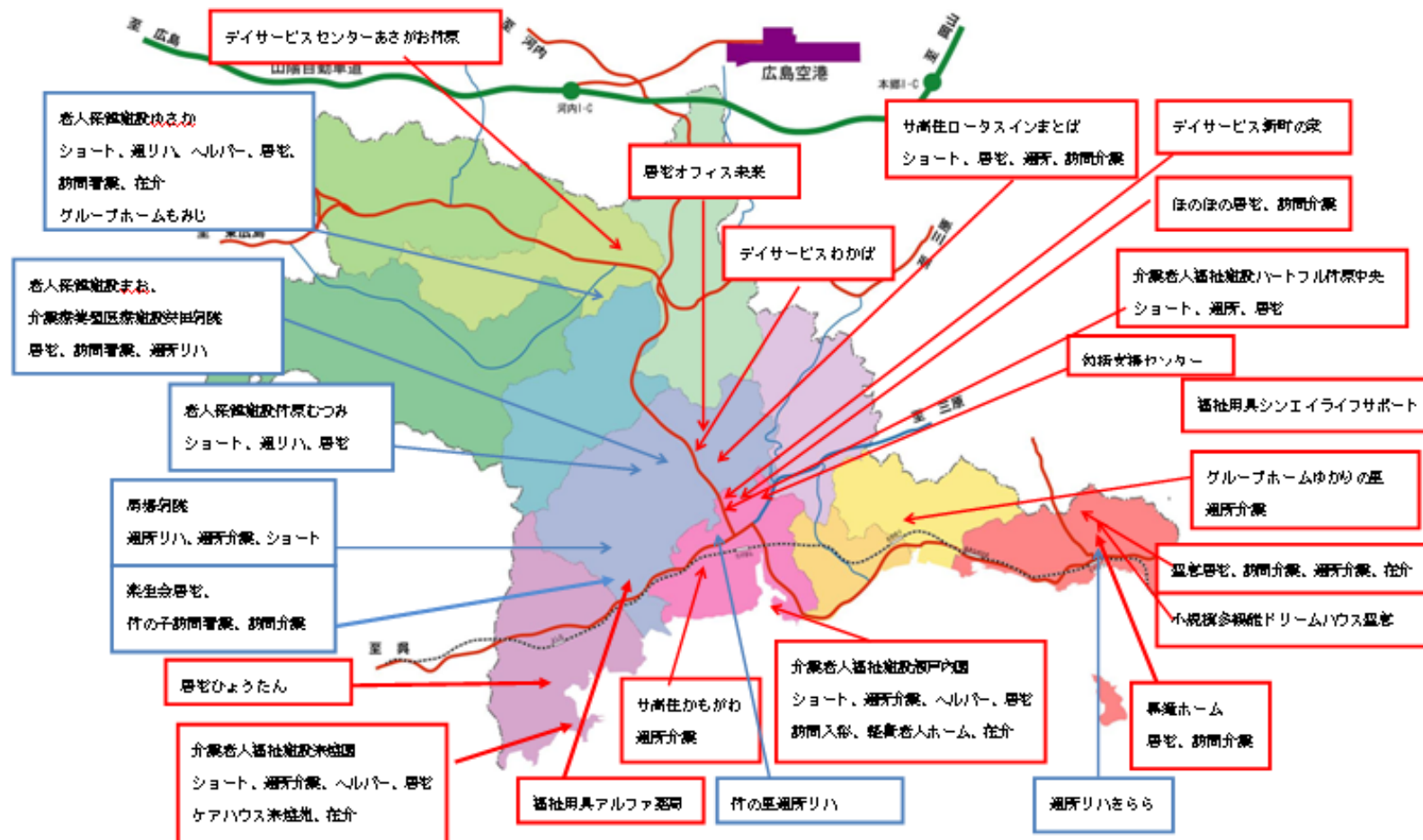
1

訪薬 1)

竹原市社会資源

竹原市内介護保険事業所マップ

介護保険施設	6
介護保険外施設	5
地域密着型サービス	3
居宅介護支援事業所	12
訪問看護	3
居宅サービス事業所	38
地域包括支援センター	1



竹原市内在宅組織図

竹原地区医師会
竹原豊田歯科医師会
竹原地区薬剤師会
竹原市介護支援専門員連絡協議会
竹原市社会福祉法人会
竹原市通所部会
竹原市訪問介護部会

職種団体や各事業所・機関同士での情報交換や勉強会の場はあるが、多職種の集まる機会は乏しい。

（看護協会、MSW協会等の多市町をまたぐ団体は未記載）

多職種連携の課題に対する解決策の抽出

9/21 第1回多職種連携勉強会

参加者 147名

○講演「竹原市の在宅医療の現状について」

竹原地区医師会 会長 浅野稔先生

○グループワーク（問題点の抽出）

- ・独居高齢者をどう支えていくか
- ・連携上の問題点

多職種連携の課題に対する解決策の抽出

10/12 第2回多職種連携勉強会

参加者 104名

○講演「高齢者総合的機能評価について」

馬場病院 院長 馬場 広先生

○医療、介護の専門職の職種紹介

○グループワーク（解決策）

- ・独居高齢者をどう支えていくか
- ・連携上の問題点

独居高齢者をどう支えていくか

- ・ 独居高齢者の情報収集と情報一元化（行政の関与）

高齢者総合機能評価（高齢者への聞き取り調査）

介護保健申請の有無・主治医の有無

キーパーソンの確認（緊急時連絡先）

経済状態 ・医療機関への交通手段

個人情報の取り扱いの問題（条例など）

- ・ 認知症の早期発見介入

本人、家族が認知症を知られたくないという思いがありオープンになってくれない。

- ・ 近所、ボランティア、民生委員との連携（ケアマネ）

ゴミ出し、服薬管理、安否確認、情報提供などへの協力

民生委員とのネットワーク

- ・ 夜間の支援体制、安否確認

安心電話、配達業者との連携

夜間のヘルパー

- ・ 独居高齢者への情報提供

グループホーム・高専賃の紹介

多職種連携の問題

- 多職種で情報共有するために

- 医師のカンファレンスへの参加

- 医師へのコンタクトが難しい(特に病院)

- 誰が何をしているかがわからない。(顔の見える関係の構築)

- 薬剤師の在宅への関与のニーズ

- 多職種カンファレンスの実施を増やす(同じ方向を向いていない)

- 多職種勉強会の開催(医療知識・技術の底上げ)

- ICTの活用

- 窓口問題、地域資源の把握

- 医療・介護資源マップの配布

- マンパワーの不足

- 家族の意識の変革、介護する家族の支援

多職種連携の課題に対する解決策の抽出

11/9 第3回多職種連携勉強会“緩和ケア”

参加者 134名

○講演「緩和ケア事例検討」

楽生会居宅介護支援事業所 山中知子ケアマネ

○各専門職より緩和ケアについてコメント

・医師、歯科医師、薬剤師、ケアマネ、訪問看護、訪問介護員

○ホスピスケアをすすめる会ボランティア発表

○介護保険の流れの説明

○包括、居宅、病院の顔写真入り連絡先配布

○全体質疑

顔写真入り連絡先配布資料(一部)

竹原市地域包括支援センター

河野さん 正井さん 末政さん 中新さん 大川さん



松井さん 東さん 藤井さん 酒井さん

竹原市中央3丁目13-5
0846-22-5494

居宅介護支援事ゆさか

小西さん



風呂本さん

横畑さん

福田さん

森田さん
竹原市西野町横ヶ坪184
0846-29-2201
在宅介護支援センターゆさか併設

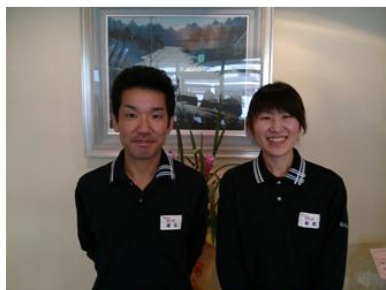
安田病院地域医療連携室



犬石さん (MSW) 岡本さん (MSW) 道面さん (MSW)

竹原市下野町3136
0846-22-6121

特別養護老人ホーム瀬戸内園



増谷さん 新開さん

竹原市港町四丁目5-1
0846-22-8017

適合高齢者専用賃貸住宅 ロータスインまとは



佐渡さん

水野さん

竹原市竹原町3643
0846-22-3655

訪問看護ステーションゆさかエデン



清原さん

竹原市西野町184
0846-29-2202

多職種連携の課題に対する解決策の抽出

12/14 第4回多職種連携勉強会“ポリファーマシーを考える”

参加者 97名

○講演「お薬手帳の有効利用について」

南海診療所 大木 恵先生

○パネルディスカッション、全体質疑

- ・医師、病院薬剤師、調剤薬局薬剤師、
ケアマネ、訪問看護師、訪問介護員
- ・意見交換会
- ・居住系施設相談員顔写真入連絡先配布
- ・Beer's criteria ,STOPP,START screening criteriaの紹介

ポリファーマシーを回避するには

- かかりつけ薬剤師を持ちましょう。
- ケアマネ、ヘルパーにて残薬などの服薬情報があれば主治医あるいは薬剤師へ気軽に報告しましょう。
- お薬手帳を常に携帯しましょう。
お薬手帳の活用法の検討(連絡簿の役割)
多剤内服の副作用、お薬手帳の意味などの患者への教育と啓蒙(薬剤師を交えて市民フォーラムetc.)
- 薬剤師会より各連絡窓口をケアマネに配布。

多職種連携の課題に対する解決策の抽出

1/18 第5回多職種連携勉強会“認知症”

参加者 163名

○講演「認知症ケアについて」

馬場病院 馬場麻好先生

○パネルディスカッション

- ・医師、精神科病院看護部長、行政、
包括支援C、認知症ケアアドバイザー

○広島県東部認知症疾患医療センター

講演「認知症疾患医療センターについて」

センター長 小山田孝裕先生

第6回多職種連携勉強会として口腔ケア、歯科連携を予定

多職種連携勉強会アンケート結果①

所属機関

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
医療機関	0人	32人	44人	28人	43人
歯科医院	4人	3人	3人	2人	2人
薬局	12人	5人	5人	4人	3人
行政	13人	2人	2人	1人	6人
地域包括	5人	3人	2人	5人	2人
介保施設	19人	20人	16人	15人	13人
介保在宅サービス	3人	6人	6人	3人	3人
居宅支援	20人	16人	18人	12人	13人
その他	12人	6人	8人	6人	15人
回答無	2人	5人	9人	6人	17人

資格

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
医師	17人	9人	8人	8人	6人
歯科医師	4人	3人	3人	2人	2人
薬剤師	13人	6人	5人	4人	4人
管理栄養士	2人	0人	1人	0人	1人
栄養士	0人	0人	0人	0人	0人
保健師	5人	1人	0人	0人	2人
看護師	26人	17人	20人	21人	21人
准看護師	0人	1人	1人	0人	2人
セラピスト	5人	5人	8人	4人	9人
ケアマネ	22人	20人	23人	18人	15人
社会福祉士	10人	4人	12人	6人	4人
介護福祉士	10人	11人	7人	7人	9人
歯科衛生士	3人	0人	0人	0人	1人
ヘルパー	4人	3人	7人	1人	10人
医療事務	4人	3人	2人	3人	2人
その他	15人	15人	14人	8人	13人
回答無	0人	0人	2人	2人	16人

多職種連携勉強会アンケート結果②

経験年数					
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
1年未満	7人	4人	5人	6人	7人
5年未満	24人	15人	25人	16人	20人
10年未満	29人	22人	23人	17人	17人
15年未満	19人	19人	24人	14人	24人
15年以上	58人	32人	33人	26人	36人
回答無	3人	6人	3人	3人	13人

年齢					
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
10代	0人	0人	0人	0人	0人
20代	7人	5人	10人	4人	7人
30代	34人	23人	27人	23人	24人
40代	34人	28人	30人	25人	30人
50代	45人	33人	31人	20人	33人
60代	14人	8人	12人	5人	9人
70代	0人	0人	0人	3人	5人
80代	0人	0人	0人	0人	1人
回答無	6人	1人	3人	2人	8人

多職種連携勉強会アンケート結果③

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
研修内容について	満足	60人	29人	56人	46人	55人
	どちらかといえば満足	56人	46人	45人	32人	55人
	どちらでもない	20人	17人	9人	2人	4人
	どちらかといえば不満	2人	3人	1人	1人	1人
	不満	0人	0人	0人	0人	0人
	回答無	2人	3人	2人	1人	0人
グループワークについて	満足	43人	37人	-	-	-
	どちらかといえば満足	69人	37人	-	-	-
	どちらでもない	19人	17人	-	-	-
	どちらかといえば不満	7人	3人	-	-	-
	不満	2人	0人	-	-	-
	回答無	0人	1人	-	-	-
多職種との壁を感じましたか	感じない	23人	27人	30人	15人	20人
	少し感じる	35人	34人	38人	38人	47人
	どちらでもない	54人	23人	15人	10人	14人
	やや感じる	6人	12人	15人	8人	10人
	強く感じる	0人	1人	3人	4人	3人
	回答無	22人	1人	3人	7人	23人
連携を作る良い機会となりましたか	満足	57人	40人	34人	34人	34人
	どちらかといえば満足	60人	45人	41人	34人	37人
	どちらでもない	15人	10人	27人	10人	24人
	どちらかといえば不満	1人	3人	1人	0人	2人
	不満	2人	0人	0人	0人	0人
	回答無	5人	0人	1人	4人	20人

・アンケート回収率 90%

・全般的に、どちらかといえば不満・不満と回答された方でコメント記載された方の9割が時間が短かったと回答。

また、満足等と回答された方の中でも時間が短いという記載が多くある。

約1割は会場設営のテーブル配置に不満ありと回答。

・時間設定は医師や歯科医師、薬剤師等と相談した結果にて19時から勉強会を設定している為に短めの時間設定であるが、2時間以上の勉強会になると集まりが悪くなる。

・第3回、第4回のグループワークについてはシンポジウム形式をとったために記載なし。

・多職種との壁を感じましたかという問いについては、各回のテーマ毎についての多職種間の壁を感じるかといった回答が多くあり、これまでの回の継続による顔の見える関係性からの多職種間の壁の感じ方についての回答は少ない。

・医療系専門職はグループワークに積極的であるが、福祉系専門職はグループワークに消極的であり、資格区分のその他に該当する介護職及び介護福祉士の参加は回をおうごとに減少しており、アンケートコメントにもグループワークに対する消極的なコメントがみられる。

在宅医療従事者の負担軽減の支援

- ・24時間対応の在宅医療提供体制の構築

- ・竹原市医師会主導により、在宅療養支援診療所のチーム編成を行っている。

- （2チーム：12医療機関）月に1回ケースプレゼンテーションを施行。

- 現段階では主治医留守中に主治医のカバーしてもらう機能のみである。

- ・後方支援病院として地域内3病院と連携をすすめている。

- ・24時間対応が可能な訪問看護ステーションを増やす。訪問看護ステーション間の連携

- ・ICTシステム有効活用

在宅医療従事者の負担軽減の支援

・チーム医療を提供するための情報共有システムの整備

地域医療支援システム「eir」の導入を行うが、課題が多くデータの収集が不十分な状況。

課題

①電波状況の問題からタブレットをアイパッドでなくドコモのアローズで使用したために、アイコン等の表示がない。

⇒バージョンアップで対応するとのことであるが、現在までのバージョンアップでは未対応。

市販のタブレットで問題ないはずであったが、アイパッド・ギャラクシー以外のタブレットでは不具合がでる可能性がある。

②発行ID、パスワードでログインできないスタッフがいる。

③スタッフの操作スキルが未熟。

④介護保険・医療保険書類との整合性から2度手間になるという意識がある。

※地域支援システムの活用について、早期に他会社等の情報収集も行い地域での有効性の確認を行う予定。

効率的な医療提供の為に多職種連携

- 各医療機関の総合相談窓口の設置(随時)
薬局の相談窓口、電話番号の一覧作成
- MSW、看護師による訪問支援(随時)。
- 多職種連携勉強会による課題抽出(1回/月)。
- 施設部会による在宅医療・介護の後方支援施設の連携強化(1/25)。

在宅医療に関する地域住民への普及啓発

- ・ケーブルテレビにて事業紹介
- ・公民館での在宅医療講演会実施
- ・平成25年2月3日在宅医療推進フォーラム開催予定
 今後は多職種共同で市民フォーラムの開催の計画



在宅医療に従事する人材育成

- 都道府県リーダー研修受講
- 地域リーダー研修開催予定

（平成24年度在宅医療推進医等育成研修Ⅰ）

平成25年2月17日（日）福山会場

平成25年2月24日（日）広島会場

- らくらくネットの継続、伝達講習

現状までの地域の課題と改善策①

- ・各相談窓口が周知されていないのでどこに何を相談していいかわからない。
⇒多職種連携勉強会にて顔写真付相談窓口連絡先を配布。
〃 多職種の交流を図る場の提供実施。
訪問活動による相談支援。
- ・包括支援センターの業務内容がわからず、何を相談していいかわからない。
⇒多職種連携勉強会にて包括支援センターより業務内容紹介。
- ・職能団体の集まりはあるが、多職種が一堂に集まる場がない為に各職種間の繋がりに乏しい。
⇒多職種連携勉強会にて多職種の集まる場の提供実施。
- ・各専門職の業務内容を知らない為に、何を相談していいのかわからない。
⇒多職種連携勉強会にて職種説明実施。多職種によるカンファレンス。
- ・行政の施策が周知されていないので、制度が活用されていない事がある。
⇒多職種連携勉強会により、行政担当者より高齢者施策などを紹介。

現状までの地域の課題と改善策②

- ・施設間の情報交換の場がなく、交流する機会に乏しい。
⇒市内施設部会実施予定。
（特養、老健、病院、行政、包括C参加予定）
- ・医療的な事柄を勉強する機会に乏しい。
⇒多職種連携勉強会にて医療的な情報発信実施。
認知症ケア等出張講座企画するも希望なし。
- ・医師とケアマネのコミュニケーションが乏しい。
⇒多職種連携勉強会、交流会にてコミュニケーションをとる機会の創設。

今後の課題

- ・事業の継続について

市の予算は難しい為に、会費制等での継続を検討。

- ・行政の公平性の観点、地域における利害関係の発生等による地域全体での在宅医療推進の中核をどこが担っていくか。
- ・点から面へと展開しつつある連携のネットワークをどのように継続していくか。
- ・情報共有をスムーズに行っていく為の情報共有システムの導入と個人情報の取り扱いについてどう対応していくか。
- ・在宅医療に関する地域住民への普及啓発について、どのように行政をとりこんで普及を図っていけるか。
- ・医療圏域として、大崎上島町と東広島市安芸津町について行政区域が異なる地域に対してのアプローチをどのように行っていくか。
(安芸津町の医療・福祉関係者には多職種連携勉強会の案内実施)

ご清聴ありがとうございました。

たけのこ

たけのこ